

平成21年1月21日

福島県生活環境部
消費生活課
電話(直通) 024-521-7736

石油製品の価格動向調査の結果について

県内の石油製品4品目について、1月13日～19日（17、18日を除く）に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです。

1 石油製品の価格動向調査の結果（非定店調査）

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	1月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	120	106	▲11.7
		セルフ	117	103	▲12.0
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	115	102	▲11.3
		セルフ	111	99	▲10.8
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,325	1,136	▲14.3
		セルフ	1,247	1,086	▲12.9
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,453	1,304	▲10.3
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	7,592	7,346	▲3.2

◎ 1月調査では、すべての品目で値下がりした。

原油価格の下落により、ガソリンが対前月比14円安（▲11.7%）、軽油が対前月比13円安（▲11.3%）、灯油が対前月比189円安（1ℓあたり10.5円、▲14.3%）となり、これらの3品目は5か月連続の価格下落となった。また、これら3品目は、平成18年5月の緊急調査開始以来の最安値で、ガソリンはほぼ4年8か月ぶり、軽油はほぼ3年8か月ぶり、灯油はほぼ3年2か月ぶりの水準まで価格を下げている。

LPガスは、対前月比246円安（▲3.2%）となり、2か月連続の下落となった。

原油価格が1月初旬に中東情勢の緊迫化等により上昇したため、石油元売りにおいては1月中旬の卸価格引き上げを表明しているところもあるが、海外原油市場の動向と併せ、石油製品の価格・需給動向を引き続き注視していく必要がある。

〔参考：調査方法等〕

(1) 県内7振興局において、調査期間（上記記載）に調査店舗に出向き、当該店舗において表示価格の確認及び聞き取りにより価格を調査（各調査店舗における価格は、調査期間中における任意の調査日・時間現在の価格）。

(2) 各振興局における調査店舗数は次のとおり

ガソリン：一般店舗5、セルフスタンド2、軽油：一般店舗5、セルフスタンド2

灯油（店頭）：一般店舗5、セルフスタンド2、灯油（配達）：一般店舗7

LPガス：一般店舗7

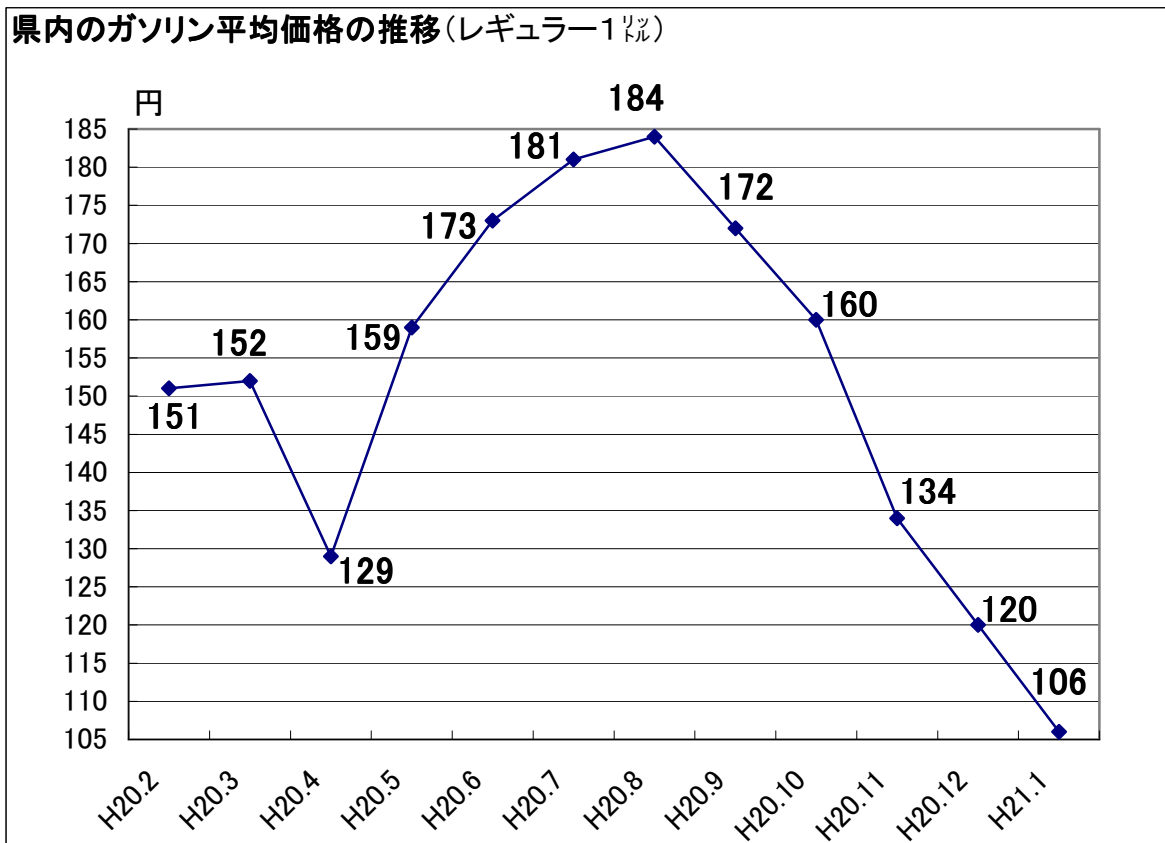
(3) 上記の結果は7振興局における調査結果の平均値。

例：ガソリン（一般店舗）：7振興局×5店舗＝35店舗の平均値

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

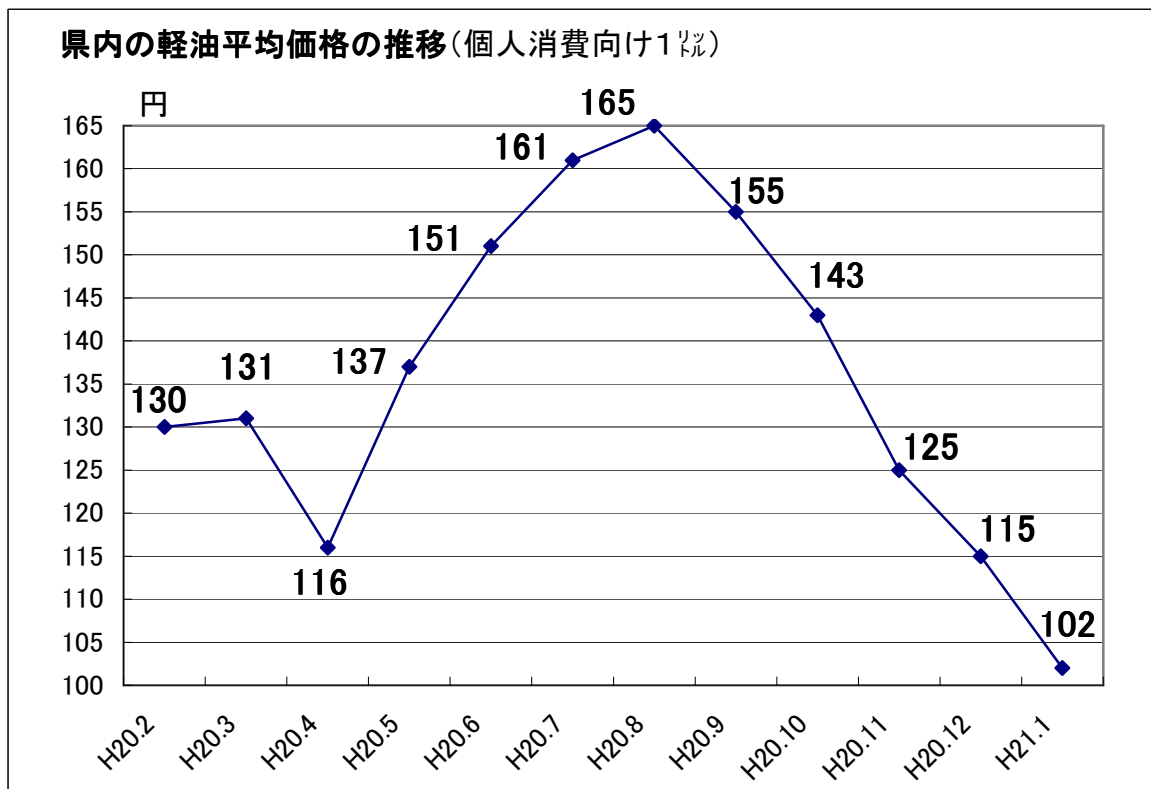
※ 一般店舗価格



◎ 12月調査と比較し、1月は14円値下がりし106円となった。

(2) 軽油価格

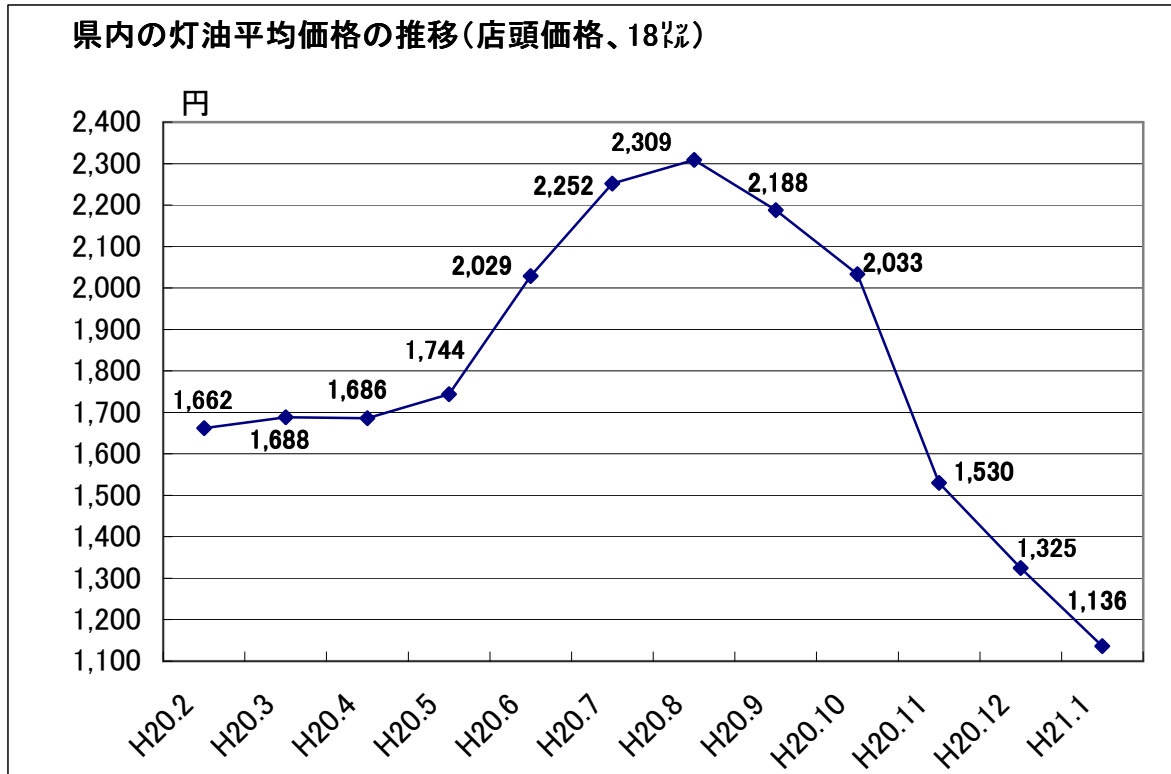
※ 一般店舗価格



◎ 12月調査と比較し、1月は13円値下がりし102円となった。

(3) 灯油価格

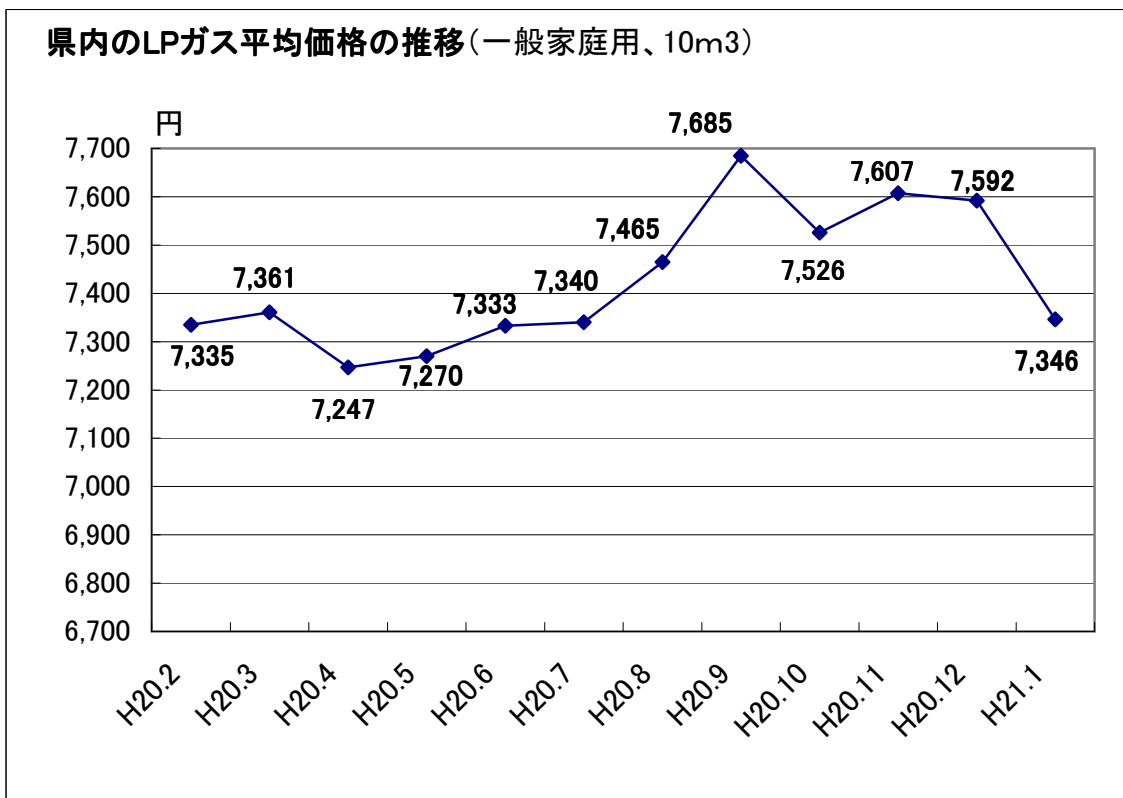
※一般店舗価格



◎ 12月調査と比較し、1月は189円(1ℓあたり10.5円)値下がりし、1,136円となった。

(4) LPガス価格

※一般店舗価格



◎ 12月調査と比較し、1月は246円値下がりし、7,346円となった。